

○「令和2年度鹿行地区鳥獣被害対策研修会」を開催しました

平成30年度における野生鳥獣による農作物の被害額は茨城県全体で約4億7千万円、そのうち鹿行地域は460万円で約50%がイノシシによる被害となっております。

こうしたなか、11月20（金）及び12月3日（木）に「令和2年度鹿行地区鳥獣被害対策研修会」を、イノシシの生息が拡大している行方市手賀地区にて開催しました。

新潟県を拠点に鳥獣被害対策に取り組む（株）ういるこの山本麻希代表をはじめ4名の講師をお招きし、研修会を行いました。

第1回は、参加者全員で集落全体の環境を歩きながら確認し、取り組むべき被害対策を検討する集落環境診断を行いました。

第2回は、被害防止対策の一つである電気柵について、対イノシシを想定した正しい設置方法や管理方法に関する実習及び座学を行いました。

参加した農業者からは、「今後の被害対策の参考になった」、「電気柵の補助事業を活用して設置したい」などの声がありました。

今後とも、鹿行農林事務所はイノシシをはじめとした野生鳥獣による農作物の被害防止対策を支援してまいります。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、体温の測定、マスクの着用、手指の消毒等を行っています。

